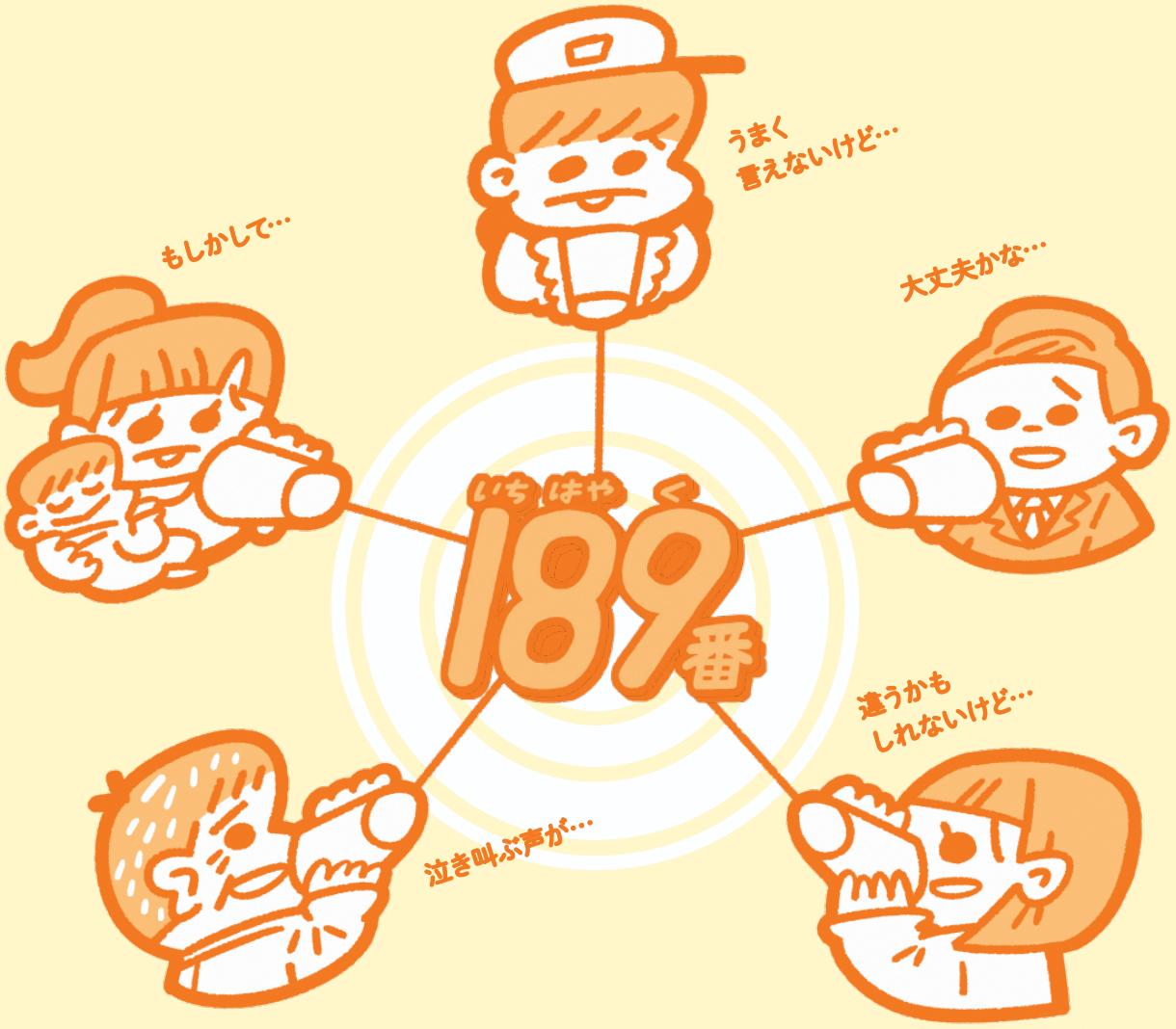
「ぎゃくたいかも」と思ったら、“いちはやく”お電話を

小さくてもいい その声をどうか189に届けてください



「自分のこどもに手をあげてしまいそう」
「親に傷つけられている」「虐待かもしれない」
そんなときは、189に頼ってください。
虐待じゃなかったとしても、手助けに繋がるかもしれません。

親や子の支援につながる電話です

- 24時間365日OK
- 名前を言わなくてOK
- 間違っていてもOK
- お金はかかりません
- 秘密は守られます

児童相談所
虐待対応
ダイヤル

いち はや く

189

こども まんなか
こども家庭庁

子ども虐待防止
オレンジリボン運動

オレンジリボンには、
子ども虐待を防止するという
メッセージが込められています。

体罰？虐待？
どうすればいいの？！ こどものしつけ

体罰や暴言はどうして絶対NG？

子育てをしていると思わず怒鳴ってしまったり、手を出してしまいそうになることがあるかもしれません。
でもそれは、「時には暴力に頼っていい」という考えにつながりかねません。
体罰は、心身の成長や発達にさまざまな悪影響が出る可能性があると科学的にも証明されています。
体罰等によらない子育てを広め、こどもの健やかな成長を社会全体で守っていきましょう。
体罰は許されないこととして法律でも禁止されています。

児童虐待ってなに？

こどもが傷つけられる「児童虐待」は、心や体に深い傷を残してしまいます。その影響が大人になっても続くことがあります。
こどもを守ることは、社会全体の大切な役割です。

身体的虐待



殴る、蹴る、叩く、
投げ落とす、激しく揺さぶる、
やけどを負わせる、
溺れさせる　など

性的虐待



こどもへの性的行為、
性的行為を見せる、
性器を触る又は触らせる、
ポルノの被写体にする　など

ネグレクト



家に閉じ込める、食事を与えない、
車内に放置する、
重い病気でも病院に
連れて行かない　など

心理的虐待



言葉による脅し、無視、
きょうだい間での差別的扱い、
こどもの目の前で家族に
暴力をふるう　など

身体を傷つけることはもちろん、無視したり、きょうだいと差別したり、
大人のけんかを見せるなど、心を傷つけるものも虐待です

こんなときは

親が怒鳴っている
声が聞こえる…

近所の子が
いつも泣いている…

虐待かどうかはわからないから
189にかけるか迷う…

夜、こどもだけで
外にいるのを見かけた…

つらそうな家庭があって
何となく心配…

児童相談所
虐待対応
ダイヤル

いち はや く
189
お電話を

通告をいただいた内容をもとに、専門の職員がこどもと
ご家庭の状況を丁寧に確認し、必要な支援を考えます。

間違っていても責められたり罰せられたりすることはありません
通告した人の秘密は守られます

児童虐待防止
について
詳しくはこちら

体罰によらない子育てを広げましょう。